











(私立) 関 西 大 学  
 (私立) 関 西 外 国 語 大 学  
 (私立) 関 西 看 護 医 療 大 学  
 (私立) 九 州 産 業 大 学  
 (私立) 京 都 文 教 大 学  
 (私立) グロービス経営大学院大学  
 (私立) 慶 應 義 塾 大 学  
 (公立) 高 知 工 科 大 学  
 (私立) 駒 沢 女 子 大 学  
 (私立) 埼 玉 工 業 大 学  
 (公立) 島 根 県 立 大 学  
 (私立) 東 京 経 済 大 学  
 (私立) 東 京 神 学 大 学  
 (私立) 東 京 農 業 大 学  
 (私立) 東 邦 大 学  
 (私立) 日 本 女 子 大 学  
 (私立) 阪 南 大 学  
 (私立) 兵 庫 医 療 大 学  
 (私立) 福 岡 工 業 大 学  
 (私立) 佛 教 大 学  
 (私立) 法 政 大 学  
 (国立) 宮 城 教 育 大 学  
 (私立) 武 蔵 野 大 学  
 (私立) 和 光 大 学

## (2) 大学基準への適合認定を行った大学に対する提言

以上の 29 大学には、それぞれの一層の改善充実のため、本協会として「長所として特記すべき事項」、「改善勧告」、「努力課題」等の提言を付しています。

「長所として特記すべき事項」を付した大学は 28 大学、「改善勧告」を付した大学は 16 大学、「努力課題」を付した大学は 29 大学となりました。各指摘は、それぞれの大学からの申請資料に基づく書面評価や実地調査の結果に加え、前述の意見申立等による当該大学からの意見を参考に、実態に即した指摘となるよう留意しました。

「改善勧告」や「努力課題」を付された大学は、それぞれの指摘にかかわる改善状況について、改善報告書を取りまとめ、原則として 2016（平成 28）年 7 月末までに、これを本協会宛に提出することになります。

## (3) 大学評価（認証評価）の結果、不適合と判定した大学に対する提言

一方、2012（平成 24）年度に大学評価を申請した 30 大学中 1 大学（横浜薬科大学）については、「大学基準」に適合していないと判定されました。

不適合と判定した大学に対しては、「必ず実現すべき改善事項」、「一層の改善が期待される事項」で構成される「大学に対する提言」を付すとともに、2014（平成 26）年までのいずれかの年度に追評価を申請できる旨を通知しました。

## ⑥ 改善報告書について

前述のとおり、本協会では、大学評価の結果、大学基準に適合している旨の認定を受けた大学に対して、必要に応じて「長所として特記すべき事項」、「改善勧告」、「努力課題」を付しています。「改善勧告」を付された大学は、これに誠実に対応し、早急に改善措置を講じる必要があります。また、「努力課題」を付された大学は、問題点として指摘された事項について十分に検討し、一層の改善に努める必要があります。

「改善勧告」もしくは「努力課題」が付された大学は、それらの事項について本協会が指定する期日までに改善報告書を提出することになっています。この「改善報告書」の制度は、本協会の大学評価の特色のひとつであり、改善報告書の評価を通じて、大学の改善・改革を継続的に支援するための重要なシステムです。

## ⑦ 2012（平成 24）年度 再評価申請大学

（大学名五十音順）

（私立） 城 西 国 際 大 学  
（私立） 洗 足 学 園 音 楽 大 学  
（私立） つ く ば 国 際 大 学

## ⑧ 再評価の経過

### (1) 書面による評価ならびに大学評価委員会における再評価結果（案）の作成

本協会では、2009（平成 21）年度の大学評価（認証評価）において判定を保留した上記 3 大学に対し、2012（平成 24）年 6 月末までに、「必ず実現すべき改善事項」「一層の改善が期待される事項」などで構成される「大学に対する提言」を踏まえた改善結果を報告するよう要請しました。これを受けて、当該大学から提出された再評価改善報告書をもとに、再評価分科会において、報告書の検討と当該大学に対するヒアリングを行い、再評価結果（原案）を取りまとめました。その後、大学評価委員会正・副委員長・幹事会で作成した再評価結果（委員長案）を大学評価委員会において、慎重に審議し、再評価結果（委員会案）を作成し、同委員会案を当該大学に送付しました。

再評価結果（委員会案）を受け取った大学は、事実誤認等があった場合、同委員会案に対して「意見申立」を行うことができます。今年度は 1 大学から意見申立があり、

大学評価委員会において、大学から提出された資料をもとに事実誤認の有無と意見申立の適否を審議し、評価結果（委員会案）に対して必要な修正を行いました。

## (2) 理事会による評価結果の承認

意見申立の手続きにより必要な修正を行った再評価結果（案）については、2013（平成 25）年 3 月 6 日開催の理事会に諮りました。その結果、2012（平成 24）年度に再評価を行った 3 大学の評価結果は承認されました。

なお、2012（平成 24）年度に再評価を受けた大学の再評価結果の詳細内容については、「Ⅱ 各申請大学に対する再評価結果」をご参照ください。

## ⑨ 再評価結果の概要

### (1) 再評価の結果、大学基準への適合認定を行った大学

（大学名五十音順）

（私立） 城 西 国 際 大 学

（私立） 洗 足 学 園 音 楽 大 学

（私立） つ く ば 国 際 大 学

## ⑩ 大学基準協会の評価の充実に向けて

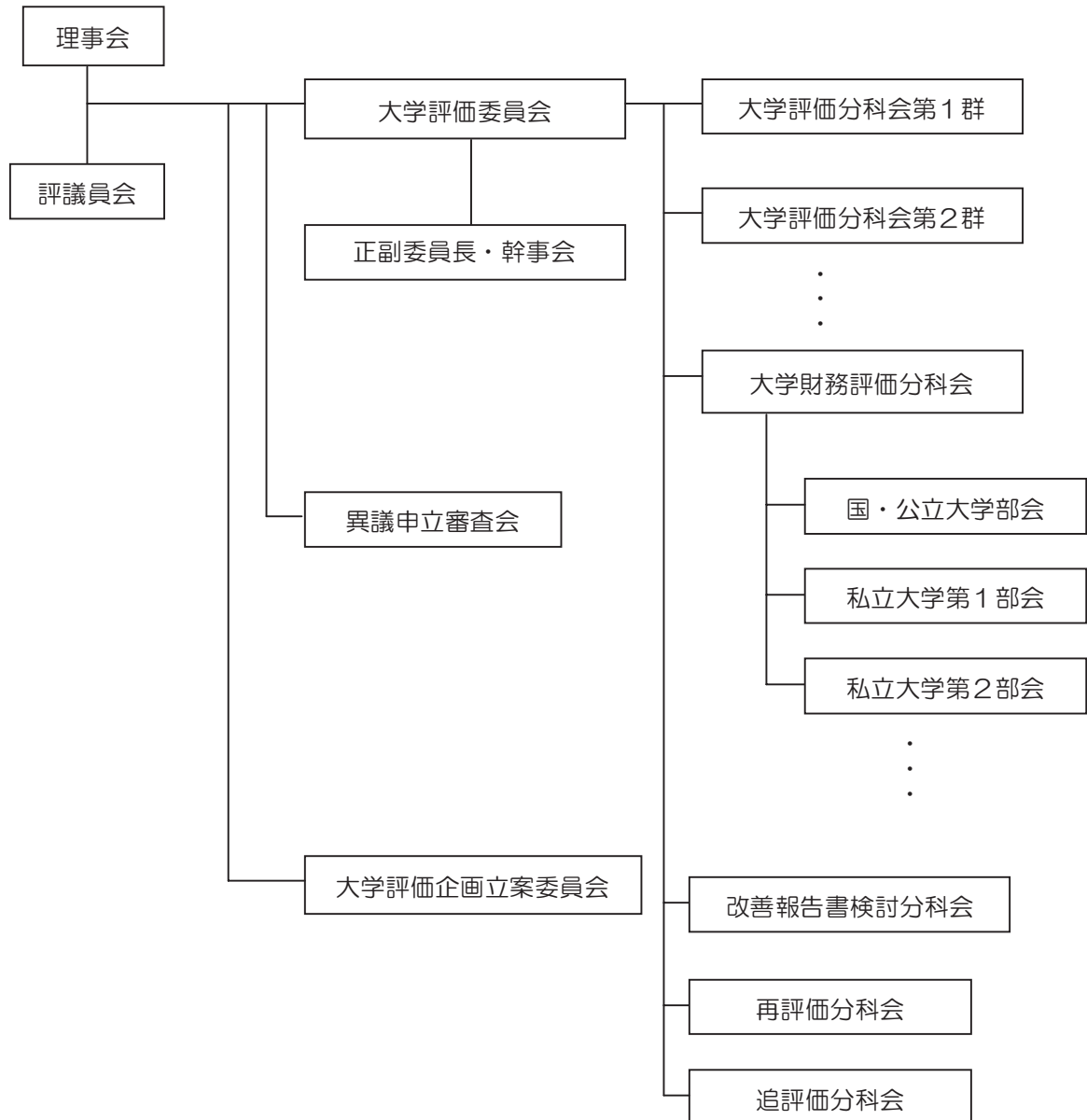
多角的な大学評価システムが誕生しつつある中、2004（平成 16）年度より認証評価制度が開始されたことも踏まえ、現在、本協会は、これまで培ってきた実績をもとに、透明性・公正性の高い「第三者評価機関」として中心的な役割を果たすべく、大学評価システムの改善・充実に取り組んでいます。とりわけ、2011（平成 23）年度から、認証評価制度が第 2 期目を迎えたことを機に、これまでの「自己点検・評価の実施」から、大学自ら質を保証し、向上させるための継続的な努力とそれを社会一般に対していかに説明・証明しているのか、という「内部質保証システム」の構築と有効性を重視した新たな評価システムへと移行しました。また、評価基準の体系化、書面評価の方法や実地調査の充実をはじめとする評価プロセスについても見直し、改善を図るとともに、さまざまな検討を重ねています。

今後とも、大学基準協会は、社会の期待に応える大学評価を発展させる努力を行ってまいります。何とぞご支援いただきますようお願いいたします。



資 料 編

大学評価組織体制図



【資料2】

平成24年度 大学評価関係委員会等 名簿

(平成25年3月6日現在)

平成24年度 大学評価委員会 名簿

役名	氏名	所属名
委員長	山本 眞一	桜美林大学
副委員長	清水 一彦	筑波大学
委員	浅野 考平	関西学院大学
委員	新井 泰彦	関西大学
委員	有馬 利男	富士ゼロックス株式会社
委員	井出 利憲	愛媛県立医療技術大学
委員	伊藤 智夫	北里大学
委員	圓 月勝博	同志社大学
委員	大 藪 恵一	大阪大学
委員	大 橋 隆哉	首都大学東京
委員	小 野 祥子	東京女子大学
委員	岸 田 昌浩	九州大学
委員	北 爪 智哉	元東京工業大学
委員	木 村 彰方	東京医科歯科大学
委員	木 村 雄二	工学院大学
委員	久 保 猛志	金沢工業大学
委員	小 林 洋司	東京都立桜修館中等教育学校
委員	坂 本 明雄	高知工科大学
委員	桜 本 光	慶應義塾大学
委員	佐 野 慶子	佐野公認会計士事務所
委員	鈴 木 正誠	株式会社 N T T コミュニケーションズ
委員	関 内 隆	東北大学
委員	外 池 力	明治大学
委員	西 村 靖敬	千葉大学
委員	浜 村 彰	法政大学
委員	水 谷 工	読売新聞大阪本社

役名	氏名	所属名
委員	矢 島 基美	上智大学
委員	矢 田 俊文	元北九州市立大学
委員	山 本 進一	岡山大学
委員	藁 谷 友紀	早稲田大学
幹事	川 崎 友嗣	関西大学
幹事	堀 井 祐介	金沢大学
特別大学評価委員	大 澤 慶子	公益財団法人 学基団法協

平成24年度 大学評価委員会 大学評価分科会 名簿

第 1 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	関 内 隆	東 北 大 学
委員	北 川 雅 章	同 志 社 大 学
委員	山 神 進	立命館アジア太平洋大学
委員	山 下 洋 史	明 治 大 学
委員	小 林 慎 一	京 都 産 業 大 学

第 2 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	江 里 健 輔	山 口 県 立 大 学
委員	縄 秀 志	高 崎 健 康 福 祉 大 学
委員	山 田 和 子	和 歌 山 県 立 医 科 大 学
委員	羽 田 誠 一	広 島 大 学

第 3 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	桜 本 光	慶 應 義 塾 大 学
委員	堂 田 周 治 郎	岡 山 理 科 大 学
委員	濱 田 弘 樹	釧 路 公 立 大 学
委員	琉 子 友 男	大 東 文 化 大 学
委員	各 務 一 徳	愛 知 大 学

第 4 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	浜 村 彰	法 政 大 学
委員	齋 藤 真 哉	横 浜 国 立 大 学
委員	宮 本 順 二 朗	帝 塚 山 大 学
委員	畑 中 正	中 央 大 学

第 5 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	外 池 力	明 治 大 学
委員	木 戸 利 秋	日 本 福 祉 大 学
委員	西 村 卓	同 志 社 大 学
委員	堀 口 六 壽	東 京 国 際 大 学
委員	長 谷 川 順 子	佛 教 大 学

第 6 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	木 村 雄 二	工 学 院 大 学
委員	朝 倉 隆 司	東 京 学 芸 大 学
委員	木 下 栄 蔵	名 城 大 学
委員	高 倉 洋 彰	西 南 学 院 大 学
委員	平 栗 健 二	東 京 電 機 大 学
委員	藤 井 賢 治	青 山 学 院 大 学
委員	矢 島 基 美	上 智 大 学
委員	根 本 進	早 稲 田 大 学
幹事	堀 井 祐 介	金 沢 大 学

第 7 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	西 村 靖 敬	千 葉 大 学
委員	赤 楚 治 之	名 古 屋 学 院 大 学
委員	畠 山 均	長 崎 純 心 大 学
委員	小 関 毅 彦	恵 泉 女 学 院 大 学

第 8 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	高 橋 真 理	北 里 大 学
委員	玉 田 章	三 重 県 立 看 護 大 学
委員	守 田 美 奈 子	日 本 赤 十 字 看 護 大 学
委員	磯 貝 昭 夫	高 崎 健 康 福 祉 大 学

## 第 9 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	大 藪 惠 一	大 阪 大 学
委員	井 上 照 幸	大 東 文 化 大 学
委員	神 田 雄 一	東 洋 大 学
委員	杉 谷 眞 佐 子	関 西 大 学
委員	前 田 昌 彦	金 沢 美 術 工 芸 大 学
委員	山 本 幸 一	明 治 大 学

## 第 11 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	藪 谷 友 紀	早 稲 田 大 学
委員	境 新 一	成 城 大 学
委員	前 田 早 苗	千 葉 大 学
委員	伊 豆 一 男	青 山 学 院 大 学

## 第 13 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	矢 田 俊 文	元 北 九 州 市 立 大 学
委員	篠 塚 和 夫	群 馬 大 学
委員	新 實 治 男	京 都 産 業 大 学
委員	山 本 誠	東 京 理 科 大 学
委員	加 藤 洋 子	首 都 大 学 東 京

## 第 15 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	岸 田 昌 浩	九 州 大 学
委員	吉 塚 和 治	北 九 州 市 立 大 学
委員	余 田 義 彦	同 志 社 女 子 大 学
委員	星 和 徳	名 古 屋 学 院 大 学

## 第 10 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	大 越 孝	桜 美 林 大 学
委員	鶴 養 啓 子	昭 和 女 子 大 学
委員	森 幸 雄	創 価 大 学
委員	齋 藤 眞 左 樹	日 本 福 祉 大 学

## 第 12 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	木 村 彰 方	東 京 医 科 歯 科 大 学
委員	旭 耕 一 郎	東 京 工 業 大 学
委員	伊 藤 信 行	京 都 大 学
委員	遠 藤 健 一	東 北 学 院 大 学
委員	黒 田 裕 子	北 里 大 学
委員	住 田 孝 之	筑 波 大 学
委員	日 比 野 靖	北 陸 先 端 科 学 技 術 大 学 院 大 学
委員	藤 田 誠 一	神 戸 大 学
委員	堀 雅 晴	立 命 館 大 学
委員	小 川 秀 治	関 西 学 院 大 学
幹事	川 崎 友 嗣	関 西 大 学

## 第 14 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	志 賀 亮 一	京 都 橘 大 学
委員	佐 藤 隆	中 京 大 学
委員	藤 田 修 三	青 森 県 立 保 健 大 学
委員	行 吉 宣 孝	神 戸 女 子 大 学

## 第 16 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	北 爪 智 哉	元 東 京 工 業 大 学
委員	上 山 邦 雄	城 西 大 学
委員	神 山 眞 一	名 古 屋 市 立 大 学
委員	笹 井 博 見	福 井 県 立 大 学

## 第 17 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	浅 野 孝 平	関 西 学 院 大 学
委員	石 堂 淳	岩 手 県 立 大 学
委員	上 沼 克 徳	神 奈 川 大 学
委員	下 村 秀 則	京 都 外 国 語 大 学
委員	西 村 豊	龍 谷 大 学

## 第 18 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	圓 月 勝 博	同 志 社 大 学
委員	阿 久 戸 光 晴	聖 学 院 大 学
委員	島 創 平	東 洋 英 和 女 学 院 大 学
委員	落 合 英 樹	白 百 合 女 子 大 学

## 第 19 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	新 井 泰 彦	関 西 大 学
委員	磯 前 秀 二	名 城 大 学
委員	松 添 直 隆	熊 本 県 立 大 学
委員	宮 川 恒	京 都 大 学
委員	山 田 勉	立 命 館 大 学

## 第 20 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	伊 藤 智 夫	北 里 大 学
委員	黒 木 由 夫	札 幌 医 科 大 学
委員	黒 沢 隆 夫	北 海 道 医 療 大 学
委員	式 守 晴 子	静 岡 県 立 大 学
委員	山 登 一 郎	東 京 理 科 大 学
委員	田 中 秀 和	麻 布 大 学

## 第 21 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	浜 名 優 美	南 山 大 学
委員	鈴 木 寛	国 際 基 督 教 大 学
委員	村 上 昌 弘	共 立 女 子 大 学
委員	渡 部 充	神 戸 女 学 院 大 学
委員	古 角 智 子	大 谷 大 学

## 第 22 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	坂 本 明 雄	高 知 工 科 大 学
委員	廣 川 み どり	法 政 大 学
委員	千 葉 敦	常 磐 大 学
委員	吉 田 裕 之	京 都 産 業 大 学
委員	神 林 新	東 洋 大 学

## 第 23 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	白 幡 晶	城 西 大 学
委員	稲 垣 直 樹	岐 阜 薬 科 大 学
委員	繁 田 雅 弘	首 都 大 学 東 京
委員	福 本 安 甫	九 州 保 健 福 祉 大 学
委員	山 田 佳 男	法 政 大 学

## 第 24 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	大 橋 隆 哉	首 都 大 学 東 京
委員	国 吉 光	東 京 電 機 大 学
委員	村 本 茂 樹	吉 備 国 際 大 学
委員	金 子 和 弘	千 葉 工 業 大 学

## 第 25 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	久 保 猛 志	金 沢 工 業 大 学
委員	伊 橋 光 二	山 形 県 立 保 健 医 療 大 学
委員	木 村 秀 明	大 正 大 学
委員	小 山 悦 司	倉 敷 芸 術 科 学 大 学
委員	矢 嶋 道 文	関 東 学 院 大 学
委員	横 倉 節 夫	神 奈 川 大 学
委員	横 山 正 博	山 口 県 立 大 学
委員	西 村 豊	龍 谷 大 学

## 第 26 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	山 本 進 一	岡 山 大 学
委員	相 原 隆	関 西 学 院 大 学
委員	猪 股 宏	東 北 大 学
委員	岡 崎 祐 司	佛 教 大 学
委員	片 方 信 也	日 本 福 祉 大 学
委員	可 知 直 毅	首 都 大 学 東 京
委員	澤 田 幹	金 沢 大 学
委員	山 中 博 心	福 岡 大 学
委員	和 田 修 一	早 稲 田 大 学
委員	吉 岡 康 博	同 志 社 大 学
幹事	大 澤 慶 子	大 学 基 準 協 会

## 第 27 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	於 保 幸 正	広 島 大 学
委員	関 谷 融	長 崎 県 立 大 学
委員	湯 川 嘉 津 美	上 智 大 学
委員	大 藤 生 気	横 浜 国 立 大 学

## 第 28 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	小 野 祥 子	東 京 女 子 大 学
委員	宇 野 文 二	岐 阜 薬 科 大 学
委員	遠 藤 銀 朗	東 北 学 院 大 学
委員	柏 本 吉 章	神 戸 松 蔭 女 子 学 院 大 学
委員	中 島 裕 昭	東 京 学 芸 大 学
委員	平 典 子	北 海 道 医 療 大 学
委員	平 山 崇	西 南 学 院 大 学
幹事	大 澤 慶 子	大 学 基 準 協 会

## 第 29 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	井 出 利 憲	愛 媛 県 立 医 療 技 術 大 学
委員	見 尾 光 庸	就 実 大 学
委員	水 上 元	名 古 屋 市 立 大 学
委員	立 仙 和 彦	関 西 大 学

## 第 30 群

役名	氏 名	大 学 名
主査	公 文 溥	法 政 大 学
委員	青 木 幹 太	九 州 産 業 大 学
委員	加 來 秀 俊	活 水 女 子 大 学
委員	藤 井 一 弘	青 森 公 立 大 学
委員	日 野 哲	東 北 学 院 大 学

平成24年度 大学財務評価分科会 名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	柳 沼 寿	法 政 大 学
委員	井 倉 博	学 校 法 人 近 畿 大 学
委員	大 久 保 武	学 校 法 人 根 津 育 英 会
委員	岡 本 博 志	北 九 州 市 立 大 学
委員	川 上 利 明	学 校 法 人 慶 應 義 塾
委員	佐 野 慶 子	佐 野 公 認 会 計 士 事 務 所
委員	重 田 勝 紀	学 校 法 人 関 西 大 学
委員	杉 崎 正 彦	学 校 法 人 國 學 院 大 學
委員	徳 田 守	学 校 法 人 金 沢 工 業 大 学
委員	永 和 田 隆 一	学 校 法 人 神 奈 川 大 学
委員	平 井 雪 恵	学 校 法 人 立 教 学 院
委員	松 本 香	公 認 会 計 士 松 本 香 事 務 所

平成24年度 大学財務評価分科会 国・公立大学部会名簿

役名	氏 名	所 属 名
主査	岡 本 博 志	北 九 州 市 立 大 学
委員	加 賀 谷 次 朗	筑 波 大 学
委員	白 崎 賢 治	札 幌 医 科 大 学
委員	福 田 直 史	高 知 工 科 大 学
委員	山 田 幸 太 郎	山 田 公 認 会 計 士 事 務 所



平成24年度 大学財務評価分科会 私立大学部会名簿

第 1 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	徳 田 守	学校法人金沢工業大学
委員	小 笠 原 渉	学校法人明治大学
委員	鳥 井 幸 雄	学校法人早稲田大学

第 2 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	永 和 田 隆 一	学校法人神奈川大学
委員	橘 昇	学校法人工学院大学
委員	新 井 康 廣	元社団法人日本私立学校 振興・共済事業団

第 3 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	重 田 勝 紀	学校法人関西大学
委員	尾 浪 英 人	学校法人学習院
委員	新 井 伊 佐 夫	学校法人東京理科大学

第 4 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	井 倉 博	学校法人近畿大学
委員	後 藤 明 夫	学校法人北里研究所
委員	波 多 野 隆 一	学校法人獨協学園

第 5 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	川 上 利 明	学校法人慶應義塾
委員	高 橋 一 夫	学校法人日本大学
委員	豊 田 耕 三	学校法人立命館

第 6 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	大 久 保 武	学校法人根津育英会
委員	菅 野 治 男	学校法人青山学院
委員	宮 直 仁	宮直仁会計事務所

第 7 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	平 井 雪 恵	学校法人立教学院
委員	道 上 裕 之	学校法人東洋大学
委員	山 田 憲 男	学校法人日本女子大学

第 8 部会

役名	氏 名	所 属 名
主査	杉 崎 正 彦	学校法人國學院大學
委員	根 本 和 彦	学校法人津田塾大学
委員	山 下 利 彦	学校法人同志社

平成24年度 大学評価委員会 再評価分科会名簿

役名	氏 名	大 学 名
主査	山 本 眞 一	桜 美 林 大 学
委員	奥 川 義 尚	京 都 外 国 語 大 学
委員	佐 野 慶 子	佐野公認会計士事務所
委員	野 村 芳 正	千 葉 大 学
委員	松 本 香	公認会計士松本香事務所

平成24年度 異議申立審査会 名簿

役名	氏 名	所 属 名
審査長	八 田 英 二	同 志 社 大 学
委員	植 木 俊 哉	東 北 大 学
委員	島 崎 恒 藏	日 本 女 子 大 学
委員	滝 澤 正	上 智 大 学
委員	千 葉 吉 裕	全 国 高 等 学 校 進 路 指 導 協 議 会
委員	和 田 義 博	和 田 義 博 会 計 士 事 務 所
委員	山 下 善 久	山 下 法 律 事 務 所

## 平成 24 年度 大学評価のスケジュール

2012（平成 24）年度 大学評価は以下の手順でとり行った。

2012 年	1 月 6 日	申請大学より大学評価申請書の提出
	～31 日	
	4 月上旬	申請大学より大学評価関連資料の提出
	4 月 17 日	第 20 回大学評価委員会開催(平成 24 年度大学評価に関する検討)
	5 月 2 日	第 1 回大学財務評価分科会の開催
	5 月 10 日	評価者研修セミナーの開催（平成 24 年度の評価の概要ならび
	～16 日	に主査・委員が行う作業の説明)
	5 月下旬	主査ならびに委員による申請大学に対する評価所見の作成
	～7 月上旬	
	～7 月下旬	分科会報告書（原案）の作成（各委員の評価所見の統合)
	8 月 1 日	第 2 回大学財務評価分科会の開催
	7 月下旬	大学評価各分科会の開催（分科会報告書（案）の作成)
	～8 月	
	9 月～	分科会報告書（案）の申請大学への送付
	9 月下旬	各申請大学に対する実地調査の実施、
	～10 月	その後、分科会報告書の完成
	11 月 7 日	第 3 回大学財務評価分科会の開催
	11 月 23 日	第 7 回大学評価委員会正・副委員長・幹事会の開催（分科会報告
	～24 日	書をもとに「評価結果」（委員長案）を作成)
	12 月 13 日	第 21 回大学評価委員会の開催（「評価結果」（委員長案）の検討)
	～14 日	
	12 月下旬	「評価結果」（委員会案）の申請大学への送付
2013 年	2 月 23 日	第 22 回大学評価委員会の開催（大学から提示された意見を参
		考に「評価結果」（委員会案）を修正し、「評価結果」（最終案）
		を作成)
	3 月 6 日	第 476 回理事会の開催（「評価結果」（最終案）の承認)

※ 今年度、大学基準に適合していないと判定した 1 大学については、2013（平成 25）年 3 月 21 日付で提出された異議申立趣意書及び異議申立理由書を基に、4 月 12 日に異議申立審査会を開催し、異議申立審査報告書（案）を作成した。異議申立審査報告書（案）は 5 月 17 日開催の第 478 回理事会にて、承認され、「評価結果」を修正することが決定した。